

2025 年度トピックス調査

2026 年（令和 8 年）10 月

「衣料品購入に関する調査」 調査結果概要

調査の目的

日本衣料管理協会では、会員大学の協力のもとに衣料管理士（テキスタイルアドバイザー）養成課程の学生とその母を対象に「衣料の使用実態調査」を毎年実施しています。同時にその時々話題性の高いテーマでトピックス調査を実施していますが、今回(2025 年度)は、「衣料品購入に関する調査」を実施しました。衣料品の購入場所や購入手段（実店舗、EC、CtoC など）が、どのような実態であるのかを調査を行いました。また、新型コロナウイルス感染拡大以前に同様の調査を実施した項目については、前後の変化動向も含め、以下にご紹介します。

本調査の結果を消費者データ、また、学術的資料等としてご活用いただき、今回の調査結果が消費者の衣生活の実態をうかがい知る一助となれば幸いです。

調査の概要

調査対象者	日本衣料管理協会 会員大学に在籍する衣料管理士養成課程の 女子学生 427 名（平均年齢：20.5 歳）およびその母 378 名（平均年齢：51.8 歳）
調査方法	配票調査（会員大学に一括送付、学生に配布し回収、一括返送）
調査期間	2025 年（令和 7 年）12 月～2026 年（令和 8 年）1 月（冬休み期間）

調査内容

●フェイスシート

〔年齢、調査対象（母・女子学生）、職業（母のみ）〕

●衣料品の購入・入手の手段〔過去 1 年間に利用した店舗・サービス〕

●衣料品の購入時の支払方法

●ネットショッピングの利用経験

●衣料品の売買経験（フリマアプリ・ネットオークション）

調査結果の概要

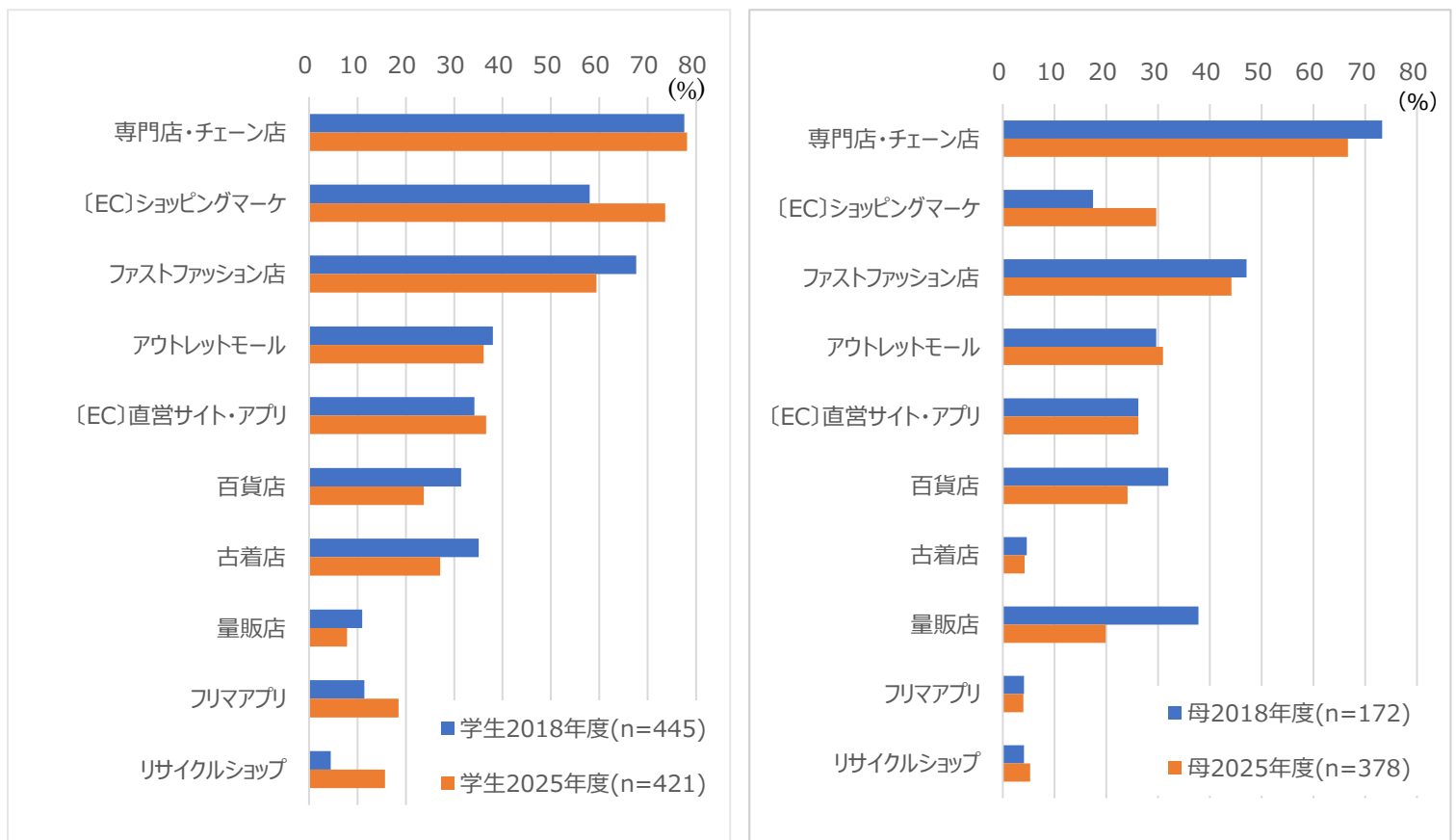
【1】衣料品を購入・入手する際、この1年間で利用した店舗・サービスは何ですか。 (複数回答)

●学生・母の衣料品購入先の傾向

学生とその母それぞれ、直近1年間の衣料品購入先について、2018年度と2025年度の比較を行った。

学生が一番多く利用しているのは、コロナ禍前と後の比較で、専門店・チェーン店であることに変化はなかった。2018年度は2位がファストファッション店で ZOZOTOWN などの〔EC〕アパレル系ショッピングマーケットサイト・アプリが3位であったが、2025年度は順位が逆転した。コロナ禍時に定着したと思われる EC 購入が進展している。

母について、駅ビルなどの専門店・チェーン店が一番多く、次いでファストファッション店という順番に変わりはない。学生も母も、百貨店と量販店の利用は減少している。【図1】

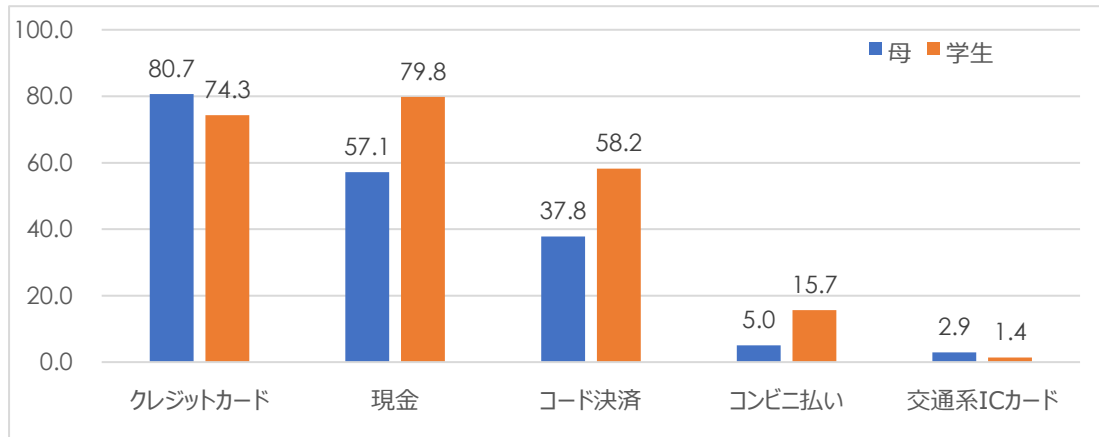


〔図1：購入先の推移（複数回答） 左：学生／右：母親（単位：％）〕

【2】衣料品購入の際、支払いは何を使っていますか。（複数回答）

●衣料品購入時の決済手段

一般的には現金の支払いは減少傾向にあるとされているが、学生は衣料品の購入に際して、現在も現金の支払いがクレジットカード利用を上回っている。卒業後、社会人になるとカードの利用が増加すると考えられる。

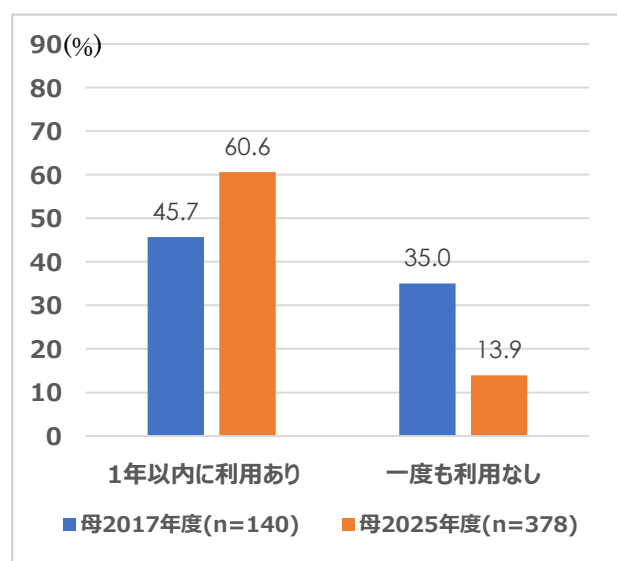
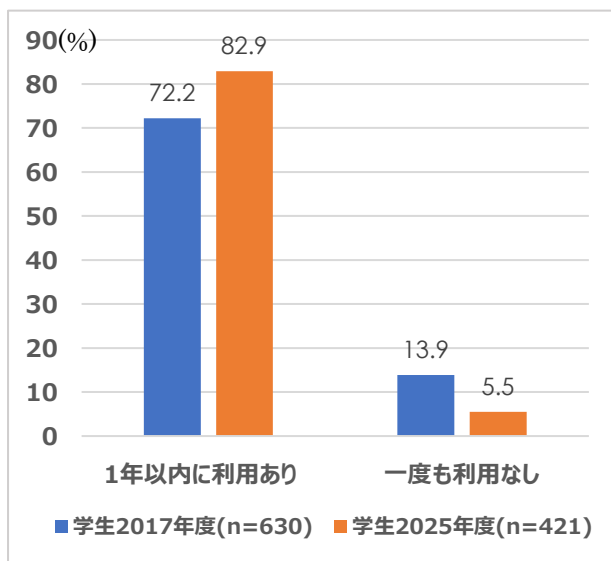


〔図2：購入先の推移（複数回答） 左：学生／右：母親（単位：％）〕

【3】衣料品購入にネットショッピングを利用していますか。

●母親による衣料品 EC 購入増加が目立つ

2025 年度は「衣料品のネットショッピング購入」に限定、一方でコロナ禍前の 2017 年度は「ファッション商品の購入」としてやや広範囲を対象として質問しているため、単純比較はできないものの、2017 年度と 2025 年度の 2 時点について、1 年以内に EC 利用がある人は、「学生 72.2% → 82.9%」、「母 45.7% → 60.6%」と特に母の伸び率が高い。一度も利用したことがない人が同時期比較で、「母 35.0% → 14.0%」、「学生 13.9% → 5.5%」と、特に母の比率が大きく減少していることから、母の EC 利用が進んでいることがわかる。

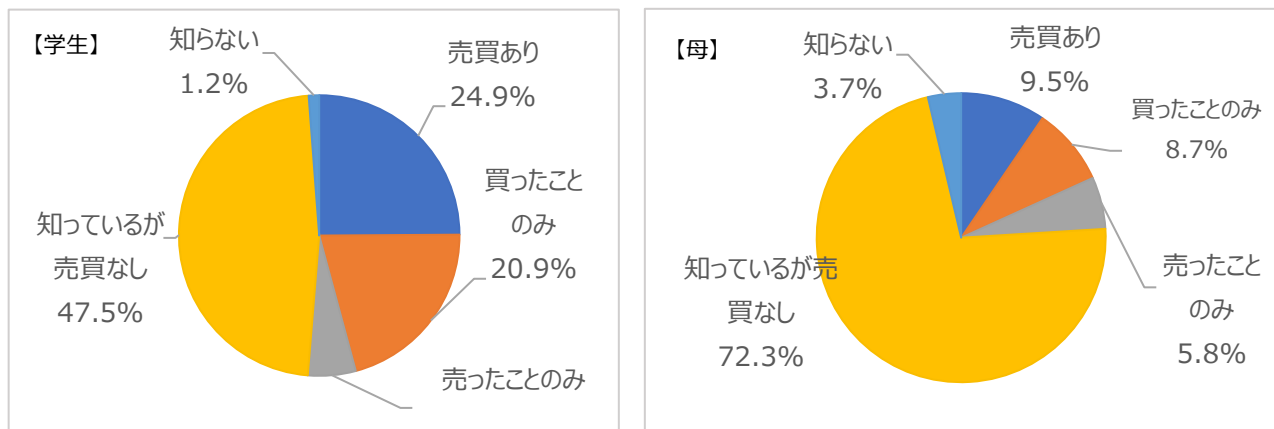


〔図3：衣料品の EC 購入経験率（複数回答） 左：学生／右：母親(単位:%)〕

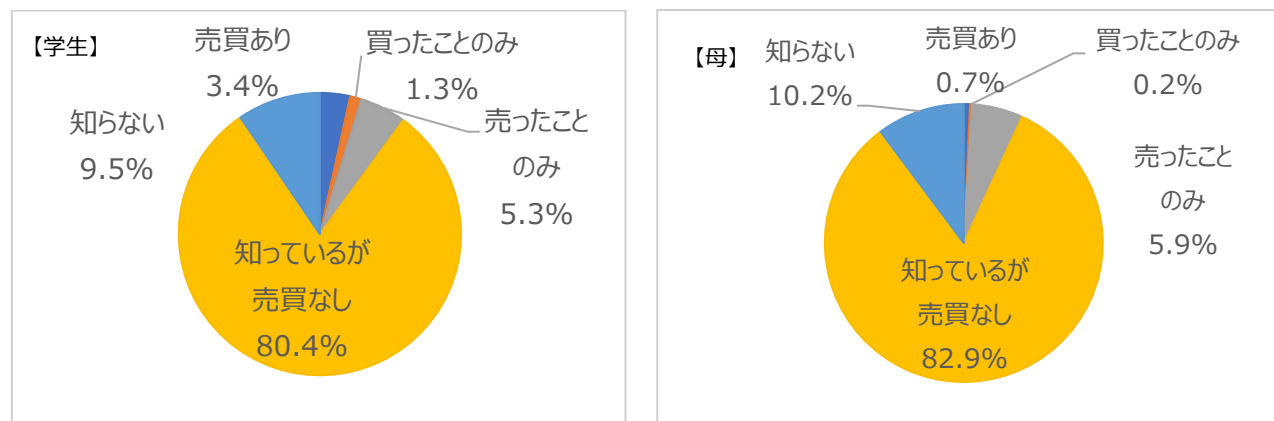
【4】この1年間で衣料品の売買にフリマアプリおよびネットオークションサイトを利用したことがありますか。

●この1年間の衣料品売買 CtoC 利用状況

衣料品の CtoC、フリマアプリ・ネットオークションの利用状況について、フリマアプリは調査時までの1年間の利用経験者（売買について、両方もしくはどちらかの経験有りの合計）は、学生 51.3%、母 24.0%と学生が多く、母は3/4は全く利用経験がない。それに対して、学生は約半数が何らかの形で衣料品について、フリマアプリを活用している。ただし、昨年の調査からも読み取れたが、コロナ禍後の学生の衣料品購入について、フリマアプリの利用の伸び率は落ち着いてきているようだ。ネットオークションについては調査時までの1年間の利用経験者（売買について、両方もしくはどちらかの経験有りの合計）は、学生 10.0%、母 6.8%で9割以上が全く利用経験がなかった。



〔図4：2025年度衣料品売買フリマアプリ利用状況 左：学生／右：母親（単位：%）〕



〔図4：2025年度衣料品売買ネットオークション利用状況 左：学生／右：母親（単位：%）〕

調査結果の引用・転載、報告書の購入に関する問い合わせ先

一般社団法人日本衣料管理協会 調査部会

TEL:03-3437-6416 FAX:03-3437-3194 ✉ jasta@mtb.biglobe.ne.jp